

第 1 回川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会 議事要旨

■日時：平成 26 年 6 月 25 日 15 時～17 時

■場所：川口市役所

(概要)

(委員の委嘱、会長副会長の互選、審議会への諮問について)

- 市長から委員委嘱と当審議会への諮問が行われた。
- 委員の互選により、会長は尾島委員、副会長は藤田委員と決定した。

(審議会の進め方について)

- 審議会の進め方について事務局の案が承認された。

(これまでの検討経緯と現状について)

- 新庁舎の検討に関係する施設を明確にすることとなった。
- 新庁舎の検討に関係する施設の基本データ（土地面積や建築面積等）について整理することとなった。

(市民アンケートについて (案) について)

- 設問票に記載している第二庁舎や分庁舎などの施設名がどの施設を指すのか、文字の大きさや行間の調整、専門的な用語の説明、各設問の意図など、回答する市民にとって、わかりやすく工夫することとなった。
- 市民から新庁舎整備に対する多様な要望が得られるよう工夫することとなった。
- 新市庁舎に併設すべき施設を確認する設問に、産業系の展示スペースや子育て関連スペース、高齢者が利用できるスペース等の選択肢の追加について検討することとなった。
- 本日の意見を踏まえて設問票を修正し、各委員に個々に説明を行い、了解を得て確定させることとなった。

(その他)

- 第 2 回審議会は 7 月 23 日 (水) の午後に町田市役所を視察することとなった。町田市に確認する事項があれば、7 月 4 日 (金) までに、事務局に連絡いただくことになった。
- 第 3 回審議会は 8 月 26 日 (火) 15 時から開催することとなった。

1. 委嘱書交付

- ・市長より各委員に委嘱書を交付した。

2. あいさつ

- ・市長より挨拶。

3. 委員自己紹介

- ・各委員より自己紹介。

4. 会長、副会長の互選

- ・委員の互選により会長は尾島委員、副会長に藤田委員と決定した。

5. 会長、副会長あいさつ

- ・尾島会長、藤田副会長より挨拶。

6. 諮問

【市長】

諮問事項。新庁舎建設基本構想及び基本計画の策定について。

諮問理由、昭和34年から47年にかけて順次建設された本庁舎は、老朽化が進むとともに、耐震性能が低く、以前から安全性の問題が指摘されておりました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、庁舎の一部に被害が発生し、庁舎の耐震性・安全性を確保することの重要性が改めて認識され、今後高い確率で予想される東京湾北部地震や茨城県南部地震などの大災害に備え、市民の安全・安心を確保するためには、防災拠点としての庁舎の建てかえを早期に実現することが必要であります。課題でありました新庁舎の建設地が決定いたしましたので、新庁舎の早期建設に向け、新庁舎の基本理念、規模、機能、建設計画、建設費及び既存庁舎の利用方法などを慎重にご審議いただき、新庁舎の基本構想及び基本計画の策定について、川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会よりご意見を賜りたく、諮問いたすものであります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

7. 議事

(1) 審議会の進め方について

【事務局】

(資料説明)

【会長】審議しなければならない内容は非常に密度が高く、特にソフト面を含めて、これから庁舎をどうするかということについて、しっかりとした審議が必要である。一度決定

したことはなるべく後戻りしないよう、一つ一つを積み上げ、慎重にご審議いただきたい。

【会長】 12月までに基本構想をまとめるということで良いか。

【事務局】 その通り。その前には、パブリックコメントを予定している。

【会長】 前半の部分、構想が、基礎的などころであり、しっかりと積み上げていきたいと思っている。流れとしては、前半をしっかりと議論し、後半を急ぐというイメージか。

【事務局】 そのように考えている。

【委員】 会長がお諮りされている1番目の進め方については賛成する。職員による「庁内検討部会」については、総合計画とか企画財政といった部局も入るべきと考えているが、いかがか。

【事務局】 本審議会と並行して庁内検討部会を進めていく予定であり、参考資料2に記載の通り、4つの部会を設置する予定である。このうち、第4部会が「事業手法・財政計画」を検討する部会であり、財政部局の参加も想定している。庁内検討会での議論の結果は、本審議会に報告する。

【委員】 ぜひ庁内の頭脳を結集して取り組んでいただきたい。

【委員】 工程表に関して、いつ地震が来るかわからないという中で早期実現が必要であり、できるだけ前倒しで検討を進め、早期に結論が出せるよう進めていただきたい。

【会長】 ご指摘のとおりである。安全・安心問題は喫緊の課題であり、迅速にして、しかも厳密にさせていただかないといけない。よろしくお願ひしたい。

(2) これまでの検討経緯と現状について

【事務局】

(資料説明)

【会長】 かつて我々が大学を卒業した昭和35年頃の建物の設計では、現在のI s値に換算するとどうしてもI s = 0.2位になってしまう。現在の市役所でこの数字は、安全性の観点からも緊急な問題である。

【委員】 8頁の庁舎の概要と10頁の地図の関係がよくわからない。

【事務局】 新庁舎への集約など検討対象のみを表記するなど、誤解が生じないように修正させて頂く。

【委員】 本庁舎と市民会館、事務棟は土地面積が出ているが、鳩ヶ谷庁舎や第二庁舎、各支庁等について土地面積が出ていない。これらのデータを提供いただきたい。

【事務局】 提供させて頂く。

【会長】 新庁舎の検討に関係する全ての施設の土地面積、建築面積、延べ床面積について、整理いただくことをお願いしたい。

【委員】 恐らく市として統合できれば良いと考えている施設が、資料に書かれていると思われる。ただし、朝日環境センターや水道庁舎を本庁舎に統合することは、現実的にはナンセンスではないか。この辺りの考え方を整理することが必要である。また、この分散した庁舎のI sがどの程度かについて示していただきたい。

【事務局】 朝日環境センターや水道庁舎については、これからご審議いただくところではあるが、事務局としても、統合は難しいと考えているところである。また、分散した庁舎のI s値について、本庁舎以外は、駐車場棟を除き、全て新耐震になっており、耐震基準を満足している。

【委員】 5頁のケース1のアが想定されるという説明であったが、例えば、水害が起きるので地下は造らないとか、容積率をどうするのか、建物の高さなど、これから検討していくことではないのか。また工事期間も記載されているが、こんなにかかるのか疑問である。

【事務局】 これは前の庁舎建設審議会に提出した市の試算による資料であり、容積率をどうするか、階数をどうするか、地下に駐車場をつくるかなど、今後、この審議会の中で検討していく事項である。細かい記載は、仮定の数字と考えていただきたい。

【委員】 了解した。ただし、資料に記載されていることが一人歩きする懸念がある。注意いただきたい。

(3) 市民アンケート(案)について

【事務局】

(資料説明)

【委員】 アンケートの対象者は、住民基本台帳から抽出するのか。

【事務局】 その通りである。

【委員】 後々の整理を考えると、マークシートのほうが、コンピューターで処理できるため、整理しやすいのではないか。

【事務局】 今回は、時間の関係もあるので、この形で実施させて頂きたい。

【委員】 了解した。

【委員】 問1で第二庁舎、分庁舎と書いてあるが、市民の中には、どれが第二庁舎でどれが分庁舎か、わからない方もいる。説明が必要である。同じように問8も、行政センターや駅前連絡室について説明が必要である。

【事務局】 地図をつける等、工夫する。

【委員】 新庁舎ができると、第二庁舎や分庁舎は一切なくなってしまうのか。それとも別の使い道を考えているのか。

【事務局】 第二庁舎も分庁舎も耐震性に問題はなく、これは利活用することを考えていきたい。その利活用策についても本審議会で、ご検討いただきたい。

【委員】 問15の住所の文字が小さく、高齢者の方には見えないのではないか。また、選択肢の間隔が詰まっており、丸を付けた時に他の選択肢と被ってしまい、判別がつかなくなる恐れがある。

【事務局】 問15の地区名については、文字を大きくするよう修正する。また、行間についても、できるだけ空けるよう修正する。

【委員】 問1の「5 その他分室」というのが、どの施設まで含むのかがわからない。説明が必要である。また、問1の質問の文章に「地域別の支所および川口駅前行政センターは

含みません」とあるが、ここでは駅前連絡室のことについて触れていない。駅前連絡室もその他分室などに含んで考えるのかどうか。

さらに、問2で、今現在、本庁舎、第二庁舎、分庁舎、鳩ヶ谷庁舎でやっていない業務が記載されているが、その理由は何か。

最後に、問10の「4 建物の寿命が長いこと（少なくとも50年以上）」とあるが、50年以上に限定する理由は何か。「建物の寿命が長いこと」だけではだめなのか。

同様に、「12 情報通信技術（ICT）の将来変化に柔軟に対応できること」とあるが、市役所でICTといわれても想像しづらい方もいる。もう少し、具体例を示すなどわかりやすい表現が必要ではないか。

【事務局】 問1について、「5 その他分室」の表記をわかりやすく修正する。また、駅前連絡室については、問7、問8と同様に、除くことを説明に明記する。問2について、今現在、本庁舎で実施していない業務は削除し、表記についても実施している業務の内容に合うよう修正する。

問10の「4 建物の寿命が長いこと（少なくとも50年以上）」について、「(少なくとも50年以上)」は削除する。

同じく問10の12について、表現を検討する。なお、この選択肢は、情報技術は日々、進化しており、そのような進化に柔軟に対応できる施設が必要かどうかという意図である。具体例を示すと、それに縛られてしまう恐れもある。

【委員】 わかりやすい表現にしていれば良い。

問7、問8で支所等について質問をしているが、今回アンケートをとるにあたり、支所や駅前連絡室などの施設で市民がどういうものを望んでいるかというところまでは、調査はしないのか。

【事務局】 支所機能については、庁内検討部会で議論をしていく。支所は庁舎を補足するための施設であり、アンケートの設問には考えていない。

【会長】 日本全体が少子化により不要な施設を統廃合しないといけないという中、川口市は特殊な例で、しばらく人口が増加する。その中で、せいぜい防災が気になる程度という、恵まれた条件の中での庁舎建設であり、ユニークな例と思う。どう使い勝手をよくするか、どう便利にするか、これは非常に大事であるが、今の段階で、このアンケートをさっとやって終わりというのは寂しい。高齢化社会への要望とか、防災、安全も含め、もっと細かいことを聞かないといけないのではと思う。このアンケートを急いで決めないといけないか。このくらいのアンケートで本当にいいのか。

【委員】問1 1番に、具体的な公共施設の名前が挙がっている。この選択肢も、丁寧に、世代間を意識して記載いただきたい。

【会長】問1 2について「ご意見があれば」ではなく、「要望を記載ください」ではないか。多様な方々が住んでおり、それらの方々の多様な要望を聞くべきではないか。

【副会長】安全・安心の観点からすれば急いでやる必要がある。文言等、少しでも精査して、意見が素直に上がってくるような工夫をすれば良いのではないか。

【会長】5,000通のアンケートをせっかく行うのだから、有意義なものにしたい。このアンケートの結果をどのように次の戦略に使う予定か。

【事務局】設問として網羅的に設定しなければならないという中で、回答者の負荷を考えて、A4判相当で4枚というところを1つの枠として押さえて検討したという経緯がある。そういった中で、伺いたいことに優先順位をつけ、選定していった結果がご提案のものである。もう少し深掘りすべきだということも確かにあるが、そうすると、回答率が下がることが懸念される。その辺りも考えながらご意見を踏まえて検討していきたい。

【会長】アンケートから上がってきた成果が、設計と条件として新しく加わったとなると、市民も回答した甲斐がある。このアンケートでどういう成果が上がるかということも検討していただきたい。

【委員】問1 1の公共施設のところに「産業歴史資料館」という項目も加えていただきたい。商工会議所、鳩ヶ谷の商工会、鋳物組合、機械組合、緑化産業組合の5団体連名で市に要望を出しているところである。

【副会長】問2で指摘があった、現庁舎で実施していない業務は削除するという所、市が行っている業務は、全て網羅的に記載しておいた方が良いのではないか。例えば、ごみ、リサイクル、教育など抜けると、なぜ無いのかと逆に違和感がある。窓口がなくても、市長は全部見ている。また、間違えて来られる人がいることもわかる。現在、この庁舎では担当していない業務であっても、書いておいた方が良い。

【委員】問2を細かく書くのであれば、9番は、「保育園」という表現ではなく、「保育所、子育て支援など」にしていきたい。

【委員】老人が遊べるような、そういう施設についても記載いただきたい。

【委員】質問の問いを全部読まないだとどれに回答していいかわからない。例えば問1の下に、4、5、6に該当した人は何番に進んでくださいということを書いたほうがいいのではないか。

【委員】問1で、いわゆる支所とか行政センターを除くとなっているが、その理由は何か。問7、問8の設問には出てくるが、どこに行ったかのみで、何のために行ったのかは出てこない。そうすると、問1、2と問7、8の設問が合致しないのではないか。

【事務局】問1は、「現在の庁舎に関する来庁実態」と記載している通り、現在の庁舎の問題点を把握したいということで、本庁舎、第二庁舎、分庁舎、鳩ヶ谷庁舎という今回統合対象の庁舎についての設問とした。問7、8とは設問の意図が異なる。

【会長】二重括弧で表記している部分は読み飛ばされる可能性がある。《現在の本庁舎と検討中の新庁舎について伺います》という話と、《現在の庁舎に関する来庁実態について伺います》という意図について、市民は理解できるか。

【委員】わかりづらいと思われる。

【事務局】問1から4は、本庁舎に関する設問で、問7、8は、主に支所等に行っている方を区別したいという意図で設けたものである。

【委員】意図はわかるが、受け取った市民には、わかりづらいと思う。

【委員】市役所だとか市の支所だとか、行政機関に何のために行くのか、という包括的な質問をして、その上で、各目的に沿って、本庁舎、第二、鳩ヶ谷、支所、行政センター・・・ということが出てくる。その中で、本庁舎、第二庁舎という本来の調べたいところ、そこに来た方をお願いしますという流れで設問すれば良いのではないか。一番最初に聞いたことがまた問7、8で出てくるような印象がある。

【事務局】設問の並びを含め、検討させていただく。

【会長】アンケートは、本日、決めないといけないか。次回にもう1回再提出というのは困難か。

【委員】アンケートの集計とその他の検討を並行して実施すれば、8月中に集計・分析でなくとも良いのではないか。

【事務局】 本日の意見を踏まえて再検討し、各委員に個々にご説明させて頂き、それでご理解いただければ実施させて頂く、ことでいかがか。

【会長】 それでは、そういうことで宜しいか。

【委員】 (やむを得ない) の声

(4) その他

【事務局】 第 2 回審議会は、7月23日(水) 午後に、先進事例視察として、町田市役所の視察を行う予定である。町田市役所は、一昨年に完成した新しい庁舎であり、参考になると考えている。交通手段は、市でバスを用意する。

さらに、第 3 回審議会は、8月26日(火) 15時からを予定している。場所は追って連絡させていただく。

【事務局】 2点、事務連絡がある。1点目は、町田市役所を視察するに当たり、質問事項を事前に町田市に送付したい。委員の中でぜひ聞いておきたい質問事項等があれば、7月4日(金)までに、事務局にご連絡いただきたい。

2点目は、分散している庁舎等、施設を見たいという要望があれば、随時ご案内させていただく。事務局までご連絡いただきたい。

【会長】 以上をもって本日の審議会は閉会する。

以上